

参加費無料!!
年に1度の半日イベント

NGO JICA JICA海外協力隊 SDGs

国際協力を学び、行動するキツカケをつかもう!

国際協力カレッジ2024

世界にはたくさん
課題があるけど、
私に「できること」って
あるのかな?

「NGO」や
「JICA」って
何をしているの?

SDGs達成のために、
できることはある?

どんな人が
「国際協力」で
働いているの?

そんな疑問を「国際協力カレッジ」で解決しよう!

こんな時代の「いま」だからこそ、
さあ、一步、前へ踏み出そう!

世界のために。そして、自分のために。

HOPE Japan

学ぶ
1時間目 13:10-14:20
「国際協力のシゴト」を学ぼう
JICAやNGOなど、国際協力分野で活躍する
3人のセンパイが登場!

行動
2・3時間目 14:30-16:25
多様なNGOの活動紹介を聞こう!
国際協力ボランティア・インターン
マッチング展

- 日時 **2024. 12. 14 (土)**
13:00~17:00 (開場12:30~)
- 会場 JICA中部 なごや地球ひろば
*地図は裏面にあります。
- 定員 70名 (先着順)
- 対象 国際協力分野、多文化共生分野に関心がある人
○部分参加ではなく半日通しでご参加ください。
- 参加費 無料
- ▶イベントのQRコード
<https://nangoc.org/2024/09/04/2024-12-14/>
-

国際協力を学び、行動するキツカケをつかもう! 国際協力カレッジ2024

開催日時：2024年12月14日

主催：国際協力機構 中部センター
事務局：名古屋NGOセンター

「国際協力カレッジ」は、国際的な課題に関心を持つ方々が、国際協力の現場の声に触れ、考え、動き始める「学び」と「きっかけ」の場です。JICA中部と名古屋NGOセンターとの協働により2006年にスタートし、今年で19回目の開催となりました。

定員70名を大きく超える申込みがあり(108名)、高校生や大学生、社会人、退職された方まで幅広い参加者82名を得て開催しました(キャンセル率24%)。参加者のうち50%が10代、30%が20代と若年層の参加が多く、はじめてカレッジに参加した人は全体の97%でした。

1時間目：講義『SDGs達成のため“国際協力”で働く仕事としてのNGO, JICA, JICA海外協力隊』

国際協力分野でキャリアを築く3名が、これまでの人生の歩みや、国際協力に関わる仕事の喜びや難しさをテーマに登壇しました。



【NGO】
松浦史典さん

認定NPO法人
ホープ・インターナ
ショナル開発機構
ファンドレイジング
マネージャー



【NGO】
木村ひかるさん

公益財団法人
アジア保健研修所
(AHI) 広報・サ
ポーターコミュニ
ケーション



【JICA】
佐藤祥平さん

独立行政法人 国際協
力機構 (JICA) 経
済開発部民間セク
ター 開発グループ第
一チーム職員

➤ 松浦さんからは、「NGOスタッフになりたい人のためのコミュニティカレッジ(通称:Nたま)」に参加したことが、現在の仕事につながったことなどを共有していただきました。

➤ 木村さんからは、前職の障害者福祉で働いた経験、現職での仕事で大変だったこと、うれしかったことをお話していただきました。

➤ 佐藤さんからは、学生時代からの国際交流や留学経験を経て現職につながったこと、JICAでの中小企業支援事業、マンション事業、ナイジェリア事務所での駐在経験について紹介いただきました。

3人のセンパイが参加者からの質問にお答えしました（抜粋）



Q.NGOで活動する場合、研修を受ける機会がありますか？

A.私が受けた研修はエチオピア渡航前の安全研修でした。NGOの場合、単独で研修を実施することは少ないのですが、JICAや名古屋NGOセンターなどが研修を実施しているので、そういった研修に参加することが多いです。

Q. 現地で英語が通じない場合どうしていますか？

A.最近は様々な機器があるのでそういったものを使ったり、ボディランゲージで頑張ったりしています。語学もちろん大事ですが、熱意も大事だと考えています。

Q. 中学生の時にやっておいた方がいいことを教えて下さい

A.英語学習をしておくことがよいと思います。それに加えて、中学生の今を楽しむことも大事だと思います。

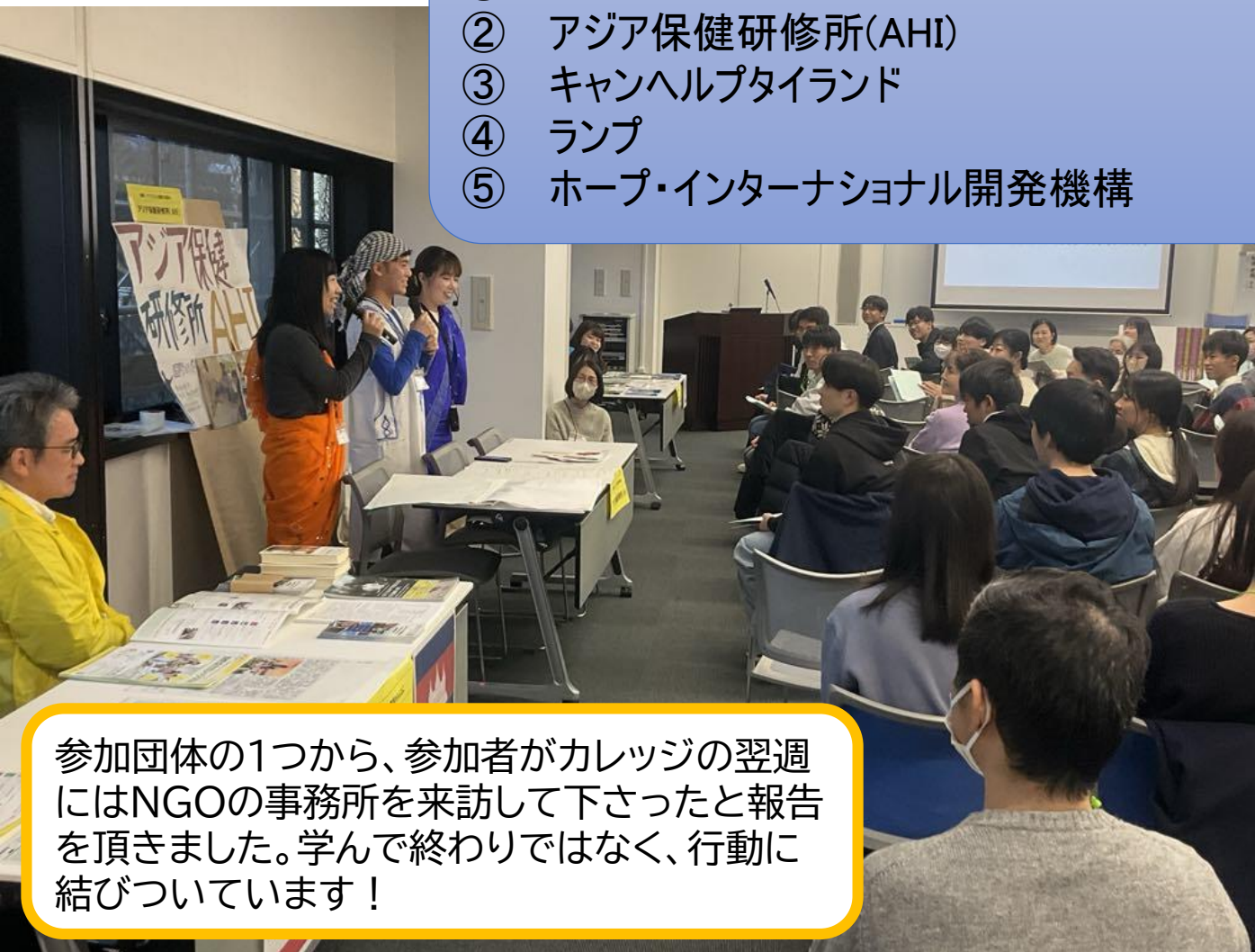
Q. 働きながらできるボランティアはありますか？

A.様々なボランティア活動があります。働きながらボランティアをやっている人たちがいます。今日の後半は、ボランティア・インターンのマッチング展なので、ぜひボランティア活動を探してみてください。

2・3時間目：「国際協力ボランティア・インターン マッチング展」

- ① ハンガーゼロ(一財 日本国際飢餓対策機構)
- ② アジア保健研修所(AHI)
- ③ キャンヘルプタイランド
- ④ ランプ
- ⑤ ホープ・インターナショナル開発機構

- ⑥ NICE(日本国際ワークキャンプセンター)
- ⑦ イカオ・アコ
- ⑧ セーブ・イラクチルドレン・名古屋
- ⑨ 国際協力機構 中部センター
- ⑩ 名古屋NGOセンター



参加団体の1つから、参加者がカレッジの翌週にはNGOの事務所を来訪して下さったと報告を頂きました。学んで終わりではなく、行動に結びついています！



参加者の声

イカオ・アコのお二人のプレゼンがとても良かったです。

ワールドコラボフェスタに出展していた団体が参加しており、さらに興味を持ってました。

対面で会うことでボランティア・海外協力隊に参加できることを実感できてとても良い機会でした。

アジア保健研修所はネパールでの体験で外科医の先生が始められたというところが印象に残りました。

3人の方がそれぞれどのような道を行ってきたのか、どんな思いで今の活動をされているのかがよく分かりました。

今まで知らなかったこと、興味のなかったことについても知るきっかけになりました。

それぞれの団体が何を大切に活動しているかがよく分かりました。

当たり前を当たり前の世界にするという言葉が心に刺さりました。

セイブ・イラクチルドレンの、日本に来られるお医者さんをサポートするという形が私にとっては新鮮でした。

NICEの世界のワークキャンプのパンフレットを頂き、行ってみたいと思いました。

小さなきっかけや些細な思いでもそれがしっかりあれば何か活動することができるとわかりました。

講師や参加団体だけでなく、参加者の熱意も伝わってきて、自分も何かできることをしようという気持ちが強くなりました。

カレッジ修了後に
SNSで配信した動画



動画作成協力：
名古屋NGOセンター
インターン 野口佳恵さん
インターン 久保田蒼さん